

自然教育園におけるアサギマダラの標識個体の確認記録

中嶋 渉*

東京都品川区

Wataru Nakajima: Confirmation record of labeled individuals of *Parantica sita* in the Institute for Nature Study. Miscellaneous Reports of the Institute for Nature Study (52): 51–53, 2020.

Shinagawa-ku, Tokyo

はじめに

自然教育園は都心の中でも自然が豊かで、花の季節になると武蔵野植物園周辺ではいろいろな蝶を見かける。人懐っこくて旅をする蝶として有名なアサギマダラも時々飛来している。

自然教育園では標識のついたアサギマダラが2006年、2008年にも確認された。

今回、自然教育園でタイアザミの花に吸蜜する標識のついたアサギマダラを確認、それらをまとめてみた。

令和元年の記録

令和元年（2019年）10月10日（午前11時11分頃、

気温20℃、薄曇り、風なし 飛来は1頭）、国立科学博物館附属自然教育園（港区白金台）武蔵野植物園で、標識のついたアサギマダラを撮影した。

自然教育園に電話で珍しい写真を撮影した旨を話したところ、標識名からSRS研究所で標識を付けて放蝶されたものかも知れないとの話があった。

後日、自然教育園の職員も10日前後に同じ個体の写真を撮っていた事が判明した。

早々にSRS研究所とコンタクトをとり、群馬パース大学学長の栗田昌裕氏に写真を送ったところ、標識番号から栗田氏が今年（2019年）の夏に福島県耶麻郡北塩原村桧原荒砂沢山のグランデコスキー場で標識をつけ放蝶されたものと判明した（図1、図2）。



図1. 2019年10月10日 自然教育園のタイアザミの花で吸蜜していたところ確認された個体 (SRS 224 デコ 8/12).

*E-mail: wata0431na@yahoo.co.jp



図2. アサギマダラの放蝶場所（福島県）と確認場所（東京都）の位置図（約235Km）.

栗田氏からの情報内容

今年の夏にグランデコススキー場で約1900頭に標識をつけて放蝶し、群馬県、長野県、愛知県で徐々に再捕獲（確認）されたが、東京都では今年初めて確認されたとの事であった（2019年10月15日現在）。

2004～2018年までに、栗田氏が個人で約17万頭に標識をつけ放蝶したが、過去に23区内で捕獲されたのは明治神宮の1例のみが印象に残っているほどの稀な事であった。

過去の自然教育園の記録

1例目 自然教育園報告、第38号（2007年3月）では2006年9月24日に武蔵野植物園で確認。（2006年8月28日放蝶）

2例目 自然教育園報告、第40号（2009年3月）では2008年10月3日に職員の桑原氏が確認（2008年8月28

日放蝶）。

「自然教育園報告」によると何れも福島県耶麻郡北塩原村で放蝶判明と記されている。

その後、栗田氏が詳細に調べたところ上記の1例目と2例目は、何れも栗田氏がグランデコススキー場から放蝶した個体であり、1例目は「SRS 11840 デコ 8/28」、2例目は「SRS 15132 デコ 8/28」と標識された個体だったことが分かった。

自然教育園とグランデコススキー場との距離は約235kmあり、1例目は28日間、2例目は37日間、今回は60日間かかって飛来したことになる。すなわちアサギマダラは福島県から東京都までは約1～2ヶ月かかって飛来したと考えられる。

表 1. 自然教育園での現在までのアサギマダラの確認状況.

	放蝶日(標識日) 標識番号	目撃日(確認日)	確認日までの飛来日数
2006年 1例目	8月28日 SRS 11840 デコ 8/28	9月24日	28日間
2008年 2例目	8月28日 SRS 15132 デコ 8/28	10月3日	37日間
2019年 今回	8月12日 SRS 224 デコ 8/12	10月10日	60日間

謝 辞

今回、群馬パース大学学長の栗田昌裕氏には何度となく問合せ等いたしました。お忙しい中便宜を図って

いただいた。また、自然教育園の名誉研究員 矢野亮氏のご厚意により「自然教育園報告」にアサギマダラの確認記録を掲載させていただく事になった。ご両氏に深く感謝申し上げる次第である。

